

令和 3 年度事業計画

社会福祉法人永生会

【法人】

1. 法人理念の浸透
(中長期計画、事業計画、キャリアパス目標、ISO 目標を一元管理、朝礼等での復唱)
2. 広報活動の強化
(ホームページの更新、40 周年記念誌の発行、法人パンフレットの整備 インスタ等)
3. 新規事業に向けた情報収集・調査研究
(児童発達支援、放課後等デイサービス、就労継続支援 B 型等)
4. 法人内の情報共有の推進
(グループウェアの導入及び活用)
5. 組織横断的な委員会活動の推進
(研修、広報、安全衛生、D-WAIT・事業継続、食の安全、職業倫理、車両、地域貢献)
6. 新型コロナウイルス等に対する研修の実施
(予防に関する研修、感染時対応に関する研修)

【介護】

1. 記録システムの IT、ICT 化を推進し、業務改善を図る。
2. 体系的な研修を実施し、各拠点の介護力の向上を図る。
3. 外国人技能実習生制度が開始され、引き続き統一感をもった研修プログラムを実践すると共に、実習生の生活のサポートを丁寧に行う。
4. 移乗等に関して必要台数のリフトの購入及び使用に関する研修会を随時開催する。
5. 令和 2 年度は通所介護事業所において、大規模減算を見通した運営を実施した。それにより令和 3 年度は減算対象施設ではなくなることから、定員に対する稼働率を 95%以上にし、且つ介護報酬改定に伴う加算要件を満たすことで健全な運営を実施する。
6. 地域密着型サービスにおける事業所間の研修を積極的に実施し質の向上を行う。

【保育】

1. 開園 20 周年にあたり、更なる保育の質の確保・向上を図るために、保育者一人ひとりが知識や技術を進んで習得できるよう研修体系を確立し、積極的に研修に取り組み環境をつくる。(自己評価制度の調査研究、次世代育成)
2. 地域を基盤とした子育てネットワークの充実を図るために、多様な連携と協働を進める。
(一時預かり事業の拡充、子育て支援センター・放課後児童育成クラブの新規展開)

【障がい】

1. 障がい者グループホームの新規開所に向けた準備、及び職員を確保し研修を実施する。
2. 障がい者（児）業務に関する従事者研修（外部・内部）を継続実施する。

【社会福祉・公益事業】

1. ケアハウスにおいて設備の老朽化が目立ってきたため大規模修繕を施している。引き続き、点検・メンテナンスに留意する。

【収益事業】

1. 医療法人敬愛会に対する賃貸事業である収益事業については、特に問題はないが、メンテナンスが必要な配管の劣化に対応する。

【地域貢献活動】

1. 大分県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会に加入し、おおいたくらしサポート事業に参画する。
2. ライフUP来楽舞（地域住民に対する公民館等での筋トレ・脳トレ、認知症カフェ）の活動を継続強化すると共にコロナ禍における活動方法について協議する。
3. NPO法人川添なのはなクラブとの協働、協賛支援で川添校区の福祉の向上に取り組む。
4. 小学生登校時交通安全+あいさつ運動を引き続き実施する。
5. 大分あんしんみまもりネットワークへの積極的な関与を図る。
6. 明治清流苑多目的グラウンドを開放し、地域に活用していただく。
7. 鶴崎地区グラウンドゴルフ連合会に協賛し、地域高齢者の健康増進に寄与する。

【組織管理体制】

1. 次世代を担う若手職員の育成について、外部講師に依頼し、継続的な教育支援を受ける。
2. 厨房業務が委託から一部自法人運営へと切り替わった。人材の確保が困難であることから、複数の調理学校との関係構築及び法人単独の説明会を開催し人材獲得に努める。
3. 働き方改革に伴い、適切な労務管理が求められる。担当者を育成し、法令を遵守した管理体制を構築する。